
QA10 個人で放射線量を測りたいのですが、測定器の種類によって違いはありますか。

一般に線量計は、セシウムからの γ （ガンマ）線により校正^{※1}しています。簡易線量計に多いGM型の測定器では、セシウムの γ （ガンマ）線より低いエネルギーに対して高めの値を表示する傾向があり、正確に測定できないことがあります。場所による線量率の大きさを比較するおおよその目安程度に考えてください。電離箱式の線量計は正確ですが、感度がやや低くなります。現在問題になっているセシウムによる γ （ガンマ）線を計測するには、エネルギー補償機能^{※2}の付いたシンチレーション式の測定器が最も適しています。

一方、GM型測定器では β （ベータ）線に対する感度が高いために、 β （ベータ）線放出核種による表面汚染の検出に優れています。

※1：校正：測定器の指示値と基準となる放射線量とを比較しその違いを調べること。

※2：エネルギー補償機能： γ （ガンマ）線のエネルギーを考慮して線量を表示する機能。

統一的な基礎資料の関連項目

上巻 第2章 43 ページ「外部被ばく測定用の機器」

出典：放射線医学総合研究所ウェブサイト「放射線被ばくに関するQ&A」より作成

出典の公開日：平成24年4月13日

本資料への収録日：平成24年12月26日

改訂日：平成27年3月31日